

りんどう

平成26年9月24日 発行

土曜参観日 < 地域公開講座・PTA講演会 >

9月6日(土)に土曜参観日として地域公開講座とPTA講演会が行われました。

< 地域公開講座 > ~ 20 講座で開催 ~

今年は芋井公民館や城山公民館に紹介していただいた5つの講座を加え、20講座で行いました。講師の先生方からていねいにご指導いただき、保護者や地域の方々と共に楽しい時間を過ごすことができました。



< 今年度開設した講座 >

【日本文化】	生け花 着付け教室	茶道 日本のマナー	書道 将棋	美文字 包丁研ぎ	琴
【物づくり】	凧作り	エコクラフト	紙飛行機	苔玉作り	韓国料理 おやきづくり
【運動・健康】	ペタンク	ソフトバレーボール		ポスチュア・ウォーキング	
【その他】	マジック	リコーダーを楽しもう			



< PTA 講演会 >

~ バンクーバー・パラリンピック 日本選手団長 クロスカントリー・スキー 金メダリスト 新田 佳浩 先生 ~

バンクーバー・パラリンピック金メダリストの新田佳浩先生に『夢の実現』と題してお話ししていただきました。3歳の時に事故で左腕をなくすというハンディキャップを負いながら、「夢を持つことの大切さ」や「夢の実現に向けた努力の仕方」などを熱く語っていただきました。そして、『不可能とは可能性だ』というメッセージをいただきました。

「私はちょっとできないことがあると、“不可能!”とか“絶対無理!”とか、すぐに口に出してしまうことがありました。だけど、新田さんのお話を聞いて、すぐに無理だって決めつけるのではなく、とりあえず何事もやってみてから判断しようと思いました」 (1年生)

「私は地域公開講座で生け花をやりました。初めてだったので難しかったけれど、すごく楽しかったです。家に持ち帰ると、母が“きれい。上手だね”と言ってくれたのでうれしかったです」 (1年生)

< 非違行為防止の取組 >

教職員による非違行為防止のため、本校では毎月研修を行って誓いを新たにしています。

- ◆夏季休業中に部活動等の場面での体罰防止について研修を実施。
- ◆8月に「非違行為防止マニュアル」を作成。(ホームページに掲載)
- ◆9月の職員会で処分事例やセルフチェックシートを用いた体罰防止研修を実施。
- ◆秋の全国交通安全運動にあわせ、交通ルールの厳守や飲酒運転根絶について研修を実施。

< 体罰に関する県の相談窓口 >

- 「こどもの権利支援センター」(心の支援室内) 026-235-7458
..... 子どもや保護者の声をお聴きします
- 義務教育課 026-235-7426 小中学校に関すること
- スポーツ課 026-235-7448 部活動や社会体育に関すること
- 「なんでもハロー青少年」(次世代サポート課内) 026-235-7100
..... 青少年に関すること

全国学力・学習状況調査の結果と対応

4月22日に3年生で実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表され、本校の国語A・Bと数学A・Bはいずれも全国平均・県平均を上回っていました。(A=主として知識、B=主として活用) 中でも、国語の「書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す」問題や、「目的に沿って話し合い、互いの意見を検討する」問題においては、正答率が全国・県を大幅に上回っていました。

一方、課題としては、次のことがありました。

【国語】 ・「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く」問題で、全国・県と同様に正答率が低く、無回答率が高いことから、読解力や表現力が不足していることが伺える。

【数学】 ・「与えられた説明の道筋を読み取り、式を適切に変形することで、その説明を完成させる」問題で、全国・県より正答率が低いことや、「度数分布表から相対度数を求める」問題で、正答率が全国・県をかなり下回っていることから、読解力、思考力・資料を活用する力、粘り強く取り組む習慣が不足していることが伺える。

【生徒質問紙】 ・言語活動・読解力が不足している。 ・学習習慣が不足している。
・自尊感情がやや低い。 ・家庭学習への取組が不十分である。

以上の成果と課題から、国語や数学の授業だけでなく、他教科や様々な教育活動において、今後、次のことに重点的に取り組んでいく必要があることがわかりました。

1 読解力を高める授業づくり

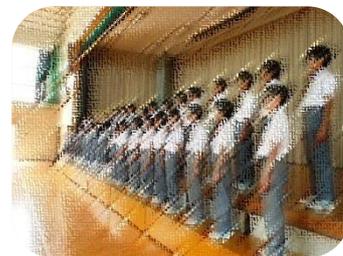
「読解力」を単に文章を読み解く力にとらえるのではなく、文章や資料から「情報収集 → 整理(解、熟考・評価) → 表現(論述)」といった過程をつなぐ力にとらえる。適切な教材の提示や学習活動により、いっそう言語活動の充実を図る。

2 学習に向かう集団づくり

できない・失敗する・負けることを繰り返すと、劣等感が募り自尊感情が持てなくなってしまうことから、仲間と関わりながら目的を達成する喜びを味わわせたい。また、安心して学べる学級作りを目指す。

3 個に応じた指導の充実

全体の数値からは読み取ることができない生徒一人一人の課題を詳細に分析し、個別に対応していく。



今後、全職員で取り組む重点的な内容として、次の3つを大切にしていきたいと思います。

1 3観点(ねらい・めりはり・見とどけ)に基づく授業づくり

- ・ねらい … 生徒の学習準備状況から導く「学習問題」や「問い」を設定する。
- ・めりはり … 授業における「核心(つける力に迫る中心的学習課題)」で仲間と関わる活動を位置付ける。
- ・見とどけ … 学習を振り返り、新たな「問い」を明確にする時間を確保する。

2 安心して学べる学級づくり

学習規律(「わたしたちの学習」「西部中学校五訓」)、学習の雰囲気(情意的な解放、肯定的人間関係)というような、授業における基礎的な条件を徹底し、整える。

3 補完学習・家庭学習のあり方

主体的に学習しようとする生徒のニーズに対応し、学習時間の確保、家庭学習を提供することを検討する。(具体例として、2学期中間テストから「学習相談」の時間を設ける)

防災訓練(第2回避難訓練)

9月1日(月)に大規模地震の発生を想定した防災訓練を行いました。今年も加茂保育園と合同で行い、園児といっしょに校庭に避難しました。消防署の方からは、「お・は・し・も」(おさない、はしらない、しずかに、もどらない)が守られた訓練の様子をほめていただきました。また、自分の命は自分で守ること、危機管理意識を高めること、家族で防災について話し合うことの大切さについても教えていただきました。西山校長からは、自分で最善の方法を考えて行動すること、冷静に行動すること、学校外で起こることもあるので家族で話し合うことが必要であるというお話がありました。